



# ひらかわ しみん シンブン

Vol.03

令和2年3月16日(月)発行

ひらかわ市民新聞は  
市民記者養成講座発  
の市民新聞です。

## NYの熱狂を平川に

### 津軽笛奏者の思い

2019年10月6日、ニューヨークのカーネギーホールで津軽笛奏者・「佐藤ぶん太」さんと世界で活躍するアーティストが共演したコンサート「Wind of Tsugaru (津軽の風)」が行われた。ねぶた囃子(ばやし)やオリジナル曲などを披露し、ニューヨークたちのスタンディングオベーションを受けたという。そのコンサートが、佐藤さんが生まれ育った平川市で開

催される。「平川に恩返しをしたい」と語る佐藤さんの思いには、平賀保育園との交流があった。佐藤さんは大坊出身。幼少時から祭りが好きで、祭り囃子に参加。9歳の頃から横笛を学び始めた。高校3年には史上2番目の若さで青森県下登山囃子奉納本大会に優勝。横笛奏者としての実力を着実につけていった。高校卒業後は地元に残り、音楽活動が続けた

め、今井哲野勝也)にホテルや観光施設などで働く。そんな中で平賀保育園から楽曲制作の依頼があったのは2003年。初めての制作依頼だった。今井哲野勝也)

園長から声を掛けてもらい嬉しかった。今井園長とはそれ以来の交流」と佐藤さん。15年以上がたった楽曲は、現在も保育園の遊戯会などで子どもたちによる演奏で披露されている。

佐藤さんは非常勤講師として平川市の小学校、中学校の子どもたちに笛の演奏を教えている。県外にも教室を持ち、今までに指導した人数は4千人以上。他ジャンルとのセッションや国境を飛び越え、新しい音楽の探求と開拓が続いている

一方で郷土芸能の伝承活動にも力を入れる。「東京ではなく、地元平川で開催することに意味がある。ここで生まれ育たなければ、カーネギーはおろか笛を好きになることもなかった」と佐藤さん。コンサートの開催は7月3日。佐藤さんの思いがまた一つ実を結ぶ。(小野勝也)



NY・カーネギーホールで津軽笛を演奏した佐藤ぶん太、さん

め、今井哲野勝也)にホテルや観光施設などで働く。そんな中で平賀保育園から楽曲制作の依頼があったのは2003年。初めての制作依頼だった。今井哲野勝也)

## 目次

### 1面

- NYの熱狂を平川にー津軽笛奏者の思いー
- 平川湯めぐり紀行：昭和レトロな駅前温泉

### 2面

- 平川縁人：中西ペニーさん
- 満腹グルメ道：大十食堂
- みんなの活動：ひらかわ案内人

### 3面

- ひらかわ古今  
尾上地区にかつてあった酒蔵
- ひらかわ調査団  
・碓ヶ関のマムシ専門店  
・碓ヶ関で50年以上続く理容室

### 4面

- 特集記事  
平川市のバイオマス発電
- 4コマ「カワ子のまんが」  
聖火リレーの練習
- お知らせ
- 掲載記事の詳細

過去のトピックスやロングバージョンの記事をお読みいただけます。  
ひらかわ市民新聞 web サイト▶



## 平川湯めぐり紀行 ー昭和レトロな駅前温泉ー



津軽尾上駅から歩いて約1分の「大和(やまと)温泉」。2階建ての風情を感じさせる昭和レトロな造りの外観。1938(昭和13)年創業当時は銭湯だったが、1977(昭和52)年に温泉を掘り、大和温泉として開業した。現在、温泉を切り盛りするのは3代目・工藤卓輝さん。2018(平成30)年までは市内の福祉施設で働いていたが、祖母の体が悪くなったことをきっかけに、地元住民からの応援や存続を望む声などを聞き、あとを継ぐことを決意した。



温泉は源泉100パーセントのかけ流し。地下800メートルから温泉をポンプで引き上げており、無色透明で匂いが少ない。工藤さんによると、疲労回復や神経痛など、さまざまな症状に効果があり、美肌効果もあるそうだ。浴槽横にある砂時計は、入浴客の要望に応えたことから。サウナ近くに設置した棚は、利用客が持ち込んだ雑誌を置き、次の利用客に読んでもらうようになっている。「先々代からお客さまの要望には柔軟に対応している」。

「お釜ドライヤー」と呼ばれる手を使わないで髪を乾かすことができるドライヤーがあるほか、待合室には50年近く使われている肩叩き機があり、古き良き時代を感じる。「レトロでありながらきれいな温泉で、若者から年配に向けてこれからのいろいろなことを仕掛けていきたい」と意欲を見せる工藤さんから目が離せない。(山口要)



女湯の脱衣所に

～えんびと～  
ENBITO  
平川縁人

平川市にゆかりがあり、市内外で活動する人を紹介します

The Person who has the relation for Hirakawa



豪国から平川へ

オーストラリア出身  
英会話教師

中西ペニーさん

1975年オーストラリアのニューサウスウェールズ州のニューキャッスル市生まれ。2010年に同志社大学社会学部教育文化学科卒業。2014年にシドニーの神学校を卒業。2014年4月にキリスト宣教師として来日し、現在は平川市で英会話教室を開き、英会話を教えている。

1.中西ペニーさんは日本の名字ですが、ハーフなのでしょうか？

いいえ、日本人の方と結婚したからです。10年近く結婚生活を送っていましたが、残念ながら他界し、再婚はしていないので名字は「中西」のままなのです。

2. どういった経緯で平川市に来たのですか？

小学生の頃から小さくて可愛いものが多く日本を好きになり、14歳で日本の宣教師になる夢を持ちました。20歳の頃に日本で守山キリスト福音教会(滋賀県)に出会い、プロジェクトの一つであった教会のない街に教会を建てる計画が、平川市に来るきっかけとなりました。

3. どういう活動を行っているのですか？

メインの活動は英会話教室です。現在、54人の生徒にレッスンをしています。昨年3月には5人の生徒を連れて、オーストラリアで語学研修も行いました。

4. 英会話を教えるうえで心掛けていることは何ですか？

生徒のレベルに合わせて単語を選び、ゆっくり話すこと。ゲームや歌などを用いて楽しく英語を教えることで生徒の学ぶ意欲を引き出しています。また、海外に行ったら役に立つ英語力やコミュニケーション力が身につくような実践的な英語にも力を入れています。さまざまなイベントを開催してコミュニティづくりをしています。海外からのお客さんが来ると、生徒と一緒に鍋パーティーやピザパーティーなどをして国際交流も楽しんでいます。

5. 平川市の皆さんに一言おねがいします。

私を平川市民として受け入れてくれてありがとうございます。とても感謝しています。平川市民になれて嬉しいです。7月にはアメリカから仲間が移住してくる予定です。その仲間と一緒に活動できることがとても楽しみです。これからもよろしくお願ひします。

(長尾万亩)

満腹グルメ道 大十食堂 -焼きそば-

今回、紹介する尾上地区にある「大十食堂」は、小説「津軽百年食堂」にも登場する老舗食堂です。創業は1900(明治33)年。現在、4代目の店主・西谷豊さんはカウンター席の上に飾られている「おかもちの蓋」に書かれているのが店の始まりの証だという。店内はカウンター席、テーブル席と座敷に分かれる。一人客から家族連れまで幅広い客層に親しまれているのが特徴だ。テレビなどの取材も多く、地元だけでなく県外からの来客もある。西谷さんの三男が床山(力士の髪を結う人)ということから、店内には力士のサインが飾られていたり壁に直接書かれていたりする。



西谷さん一押し「焼きそば」。先代から受け継いだ自家製の太麺に、濃いめのソース、ばら肉と玉ねぎがしっかり絡んでいる。メニューに加わった1958(昭和33)年から麺・ソース・具材を何一つ変えずこだわり作り続けている。定番メニューである「中華そば」を同時に食べられる麺セット「焼きそば+ミニ中華そば」が店の人気メニューだそうだ。

西谷さんに製法を変えないことについて聞いたところ、近年、製造廃止や廃業といった取引先が増え、先代と同じ食材を用意しにくくなっていると言ひ、「少しでも食材を変えるとわかる人にはわかってしまう。昔ながらの味を維持し、また食べに来てもらえるように努力し続ける」と話す。これからも厨房に立ち続けるだろう西谷さんがこだわって作っている「焼きそば」を食べに行つてみてください。(葛西陽菜)



明治33年創業を伝えるおかもちの蓋

みんなの活動

79歳でツイッターを始めた「ひらかわ案内人」

平川市内のまちあるきや観光スポットを紹介する団体「ひらかわ案内人」は、現在11人が在籍する。その中でも最年長80歳の桑田悟博さんは案内人の活動をはじめて7年目。最年長でありながら、昨年1月からツイッターでの情報発信をはじめた桑田さんにお話を聞いてみた。

桑田さんが案内人になったきっかけは、岩木山神社で見つけたある絵馬との出会いだった。「祀られている絵馬の名前がすべて『藤原』姓であることに気づいた。調べていくうちに、津軽の歴史のおもしろさにハマった」と桑田さん。津軽ひろさき検定を初級3回、中級2回も合格するほどになった。噂を聞きつけた「ひらかわ案内人」からの依頼で、2期生として加入した。

ツイッターを始めたきっかけは、ガイドで案内するコースのほかにも「もっと魅力的な場所がたくさんあることを発信したい」と思ったことから。帰省中だった孫に手伝ってもらいながら、昨年1月にツイッターデビューを果たした。

ツイッターは、案内人桑田さんならではの視点で、津軽圏域の知られていない情報や、季節の風景や草花の写真などを発信。80歳とは思えないおちゃめな絵文字の使い



ひらかわ案内人の桑田悟博さん

方で、見る人を楽しませている案内人の活動をしている。案内の中で、想定外の質問や自分が知らないことを聞かれ、答えられないことも多いそう。そんな時は、次回までに調べたことを課題とし、それを調べるのが楽しく、今ではやりがいのひとつになっている。「元気なうちはひらかわ案内人を続けていきたい」と笑顔を見せる。(北山詩野)

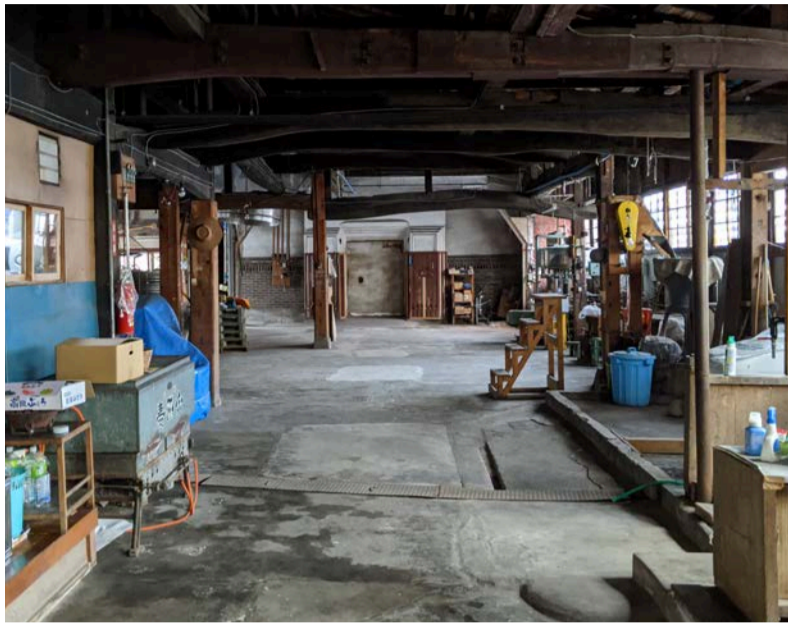


# ひらかわ古今

— 平川の今と昔を振り返る —

## 尾上地域 酒蔵跡地

尾上地区にはかつて酒蔵があり、ワイン醸造も行っていたという。古文書「半十郎口上書」によると、文禄の頃(1593年〜1596年)には猿賀村で酒造業を営んでいたという。津軽為信公の時代から平川で酒造をしていたことになる。1644年に尾上村ができる、半十郎も尾上村に移住し、酒造を始めたという。その後、大火や地震、凶作といった災害に見舞われ、醸造業の御印札は譲り継がれていき、1814年に西谷又一郎と西谷伊兵衛の重立(おもだち)二人に渡ったという。



寿酒造の跡地。関係者の許可をいただいて撮影



正泉のうちわが現在も残っている

「寿酒造」と「正泉まさいずみ」だけとなっている。寿酒造は2010(平成22)年まで営業。当時の酒造の名残を残す煙突や酒蔵などは残っているが、残念ながら使われていない。関係者から住居兼酒蔵となっている建物の中を見せてもらった。残された文献が少なく、今では記憶として残るだけ惜しい。

### Vol. 5

街の調査

## 碓ヶ関のママシ専門店 76歳店主の元気の源

「道の駅いかりがせき津軽関の庄」から国道7号を挟み真向かいに、目を引く建物がある。外壁に「ママシ すっぽん サメ軟骨」と書かれた建物といえば皆さんお分かりになる人もいないのではないだろうか。取り扱う商品は推測できるが、一体どのような店なのか。

店内に入るとまず目に入ってくるのがガラスのショーケース。中には乾燥されたママシとすっぽんが数匹並べられ、各々値札が付いてあり、商品だとわかる。店奥にはなぜかダンベルなどのトレーニングマシン。この不思議な組み合わせは一体？ 76歳の店主・奈良和枝さんによると、正味の店舗名は「あじやら山 マムシ堂」。1997(平成9)年に開業し、今年で24年目。赤ママシを5000円から、スッポンは1万



碓ヶ関の道の駅前にある店



ガラスケースにはスッポンや赤ママシが置かれている

円から販売。赤ママシはその場で奈良さん自らハンマーで叩いて粉状にし、袋詰めする。「ウチのお店は実演販売を基本にしている。目の前でママシを叩いて粉にしていく様子を見てもらうことで、ママシやスッポン、サメ軟骨以外の余計なものは一切入っていないのが分かってもらえる」と奈良さん。では、なぜトレーニングマシンがあるのか？ 「お父さん(奈良さんの夫・昌幸さん)が和太鼓を叩いたりボディアビルダーをやっていたりしていたため」。奈良さんも昌幸さんに誘われてトレーニングするようになったという。以来20年続け、自身の体力もどんどん向上して健康になることを実感している。ママシ堂は明るさと元気をくれるお店でした。(山内佳代子)



# ひらかわ調査団

みんなが感じる疑問を調べる

### Vol. 6

街の調査

## 碓ヶ関で50年以上の 理容師・岡部靖昭さん

碓ヶ関支所から徒歩2分の「理容店オカベ」。弘前や五所川原からも常連客が通う。読者から寄せられた情報をもとに取材をしてみた。

店主・岡部靖昭さんは1942(昭和17)年の北海道小樽市生まれ。「自分は養子だったと母親から聞かされた」という。その母が碓ヶ関出身だったため幼少期に碓ヶ関へ家族で移り住む。「常に『手に職を持ちなさい』と教育された」と岡部さん。中学卒業と同時に秋田・花輪の理容店に弟子入りし、理容の道を歩み始める。「理容師として」やるからには一番を目指そう」という向上心を胸に、大鰐や弘前で経験を積み、碓ヶ関で1965(昭和40)年に自分の店を構えた。



岡部靖昭さん

岡部さんには理容師としての顔を持つほか、歌手としての顔もある。1980(昭和55)年のある日、ふとしたことから「カラオケ大会」に興味本位で出場し、優勝する。ローカルタレントの黒石八郎さんとも共演したこともあったが、「自分の本業はあくまでも理容師」と決めているという。1985(昭和60)年には「アフリカ難民救済チャリティショー」を企画。また、民部平地区に散髪の手伝い活動をして約10年にわたって続けた。「目立ちたがり屋だから」と語る岡部さんだが、「地域のため」「役に立ちたい」という強い思いがある。「地域を盛り上げたり貢献したりする若い人が増えてくれることを期待したい」と岡部さんは笑顔を見せる。(山内佳代子)



「理容店オカベ」の外観

# 特集

## 1万4000世帯分の電力を供給できる 平川市のバイオマス発電

平川市内の公共施設の電気が、尾上地区にある発電事業を手掛ける会社「津軽バイオマスエナジー」で作られているをご存知でしょうか？ 同社を訪ね、代表取締役の奈良進さんからバイオマス発電について学んできました。

### 平川生まれのエネルギー

「バイオマス」とは、木材や生ごみを利用した、石油などの化石燃料の代わりとして注目されているエネルギーのことです。津軽バイオマスエナジーでは、山の間伐材やリンゴの老木、せん定した枝などを利用した「木質バイオマス」を用いて発電しています。電気は、木質バイオマスを燃焼させた熱を使って発生させた水蒸気で、タービンを回転させて作ります。しかし、ただ木を燃やせばいいというわけではありません。伐採した木は水分を含んでいる上、大き



発電所内は奈良さん自らが案内してくれました



ミニトマトは「ふるさと企業大賞（総務大臣賞）」を受賞した

いままででは燃焼効率が落ち

### 発電以外の実績も

津軽バイオマスエナジーでは発電だけでなく、ミニトマトのハウス栽培にも取り組んでいます。電力会社と

農業は結び付かないようなイメージがあるかもしれませんが、燃焼の際に発生する「熱」を利用して温室を作ります。その規模は425坪のビニールハウス2棟(2800㎡)に及び、年間25トンのミニトマトの生産量があります。

学校の照明などに利用されることで、子どもたちが勉強する環境を支えてくれています。また、発電会社とチップ製造会社には47人の社員が在籍しており、造林会社でも20人の新規雇用が生まれ、平川の就職先としての役割も担っています。このように、津軽バイオマ



工場見学の様子

### 取材協力

- 佐藤ぶん太、Wind of Tsugaru 日本公演  
日時 2020年7月3日(金)  
18:00開場 18:30開演  
場所 平川市文化センター・文化ホール  
入場料 3,000円(市内先行販売1,000円)  
販売 市内先行=4月1日～ 一般=4月25日～  
取扱店 田本商店、平川市観光協会、道の駅いかりがせき ほか  
連絡先 090-2362-5587(後藤)
- 大和温泉  
平川市中佐渡南田1-2  
営業時間 7:00～22:00  
☎0172-57-2852
- 六十食堂  
平川市尾上栄松19-1  
営業時間 11:00～17:30(月曜定休)  
☎0172-57-2022
- ペニー英会話教室  
平川市本町村元8-11  
☎0172-55-5373
- ひらかわ案内人  
平川市猿賀南田15-1(平川市観光協会内)  
☎0172-40-2231
- 理容店オカベ  
平川市碓ヶ関緑森31-3  
☎0172-45-2317
- あじゃら山 マムシ堂  
平川市碓ヶ関雷林3-6  
営業時間 10:00～17:00(月曜定休)  
☎0172-46-2274
- 津軽バイオマスエナジー  
平川市中佐渡下石田35-1  
☎0172-57-4444  
※見学の受け入れは火曜・木曜。要予約

### お知らせ

昨年5月に開講した「平川市市民記者養成講座」において取材ツアーや座学を行い、今回の「ひらかわ市民新聞 Vol.3」の発行となりました。取材・記事の作成をいただいた市民記者の皆さん、また、取材にご協力いただいた方々に心から感謝いたします。「ひらかわ市民新聞」では皆様からの情報などをもとに、平川の魅力を発信しております。この「ひらかわ市民新聞」にとどまらず、市民の皆様が地域の魅力を再発見することで、地域の活性化につながればと思います。「平川市市民記者養成講座」および「ひらかわ市民新聞」に関しては、平川市教育委員会生涯学習課までお問合せください。

令和元年度 市民記者養成講座受講者  
小野勝也、齋藤舜也、北山詩野、山口要、葛西陽菜、長尾万亩、山内佳代子、鎌田恵美子(敬称略・順不同)

発行部数 12,000部(1部あたり14円)  
編集 令和元年度 市民記者養成講座受講者  
発行元(お問い合わせ先)  
平川市教育委員会生涯学習課  
住所 青森県平川市光城2丁目30番地1  
TEL: 0172-44-1221  
FAX: 0172-44-8780  
メール: shougaiakushuu@city.hirakawa.lg.jp

## かわ子のまんか

作: 平川ワコ(平川市ご当地娘)



平川市文化センター・スタート地点

やる気てんどもり

「おーっ!」

このまま行っちゃおーっ!

「ハッ!」

「ハッ!」

ゴールの陸上競技場!

「この後、カワコは、聖火ランナーに選ばれて、そのお話を」

「これで本番もバッチリね!」

「いやあ、日頃鍛えているから、このジョー!」

「東京オリンピックの練習をやるわよ!」

「ゴールの陸上競技場!」

「これで本番もバッチリね!」

※リレーは一人でこんなに走りません。

Twitter&Instagramで活動中! 平川市ご当地娘・平川ワコをどうぞよろしくお祈いします。YouTubeチャンネルもあるよ! @hira\_kawako